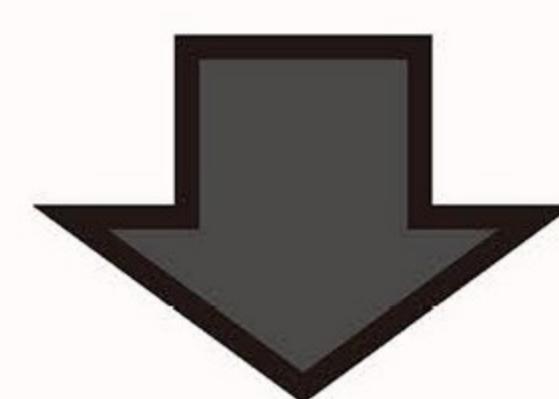


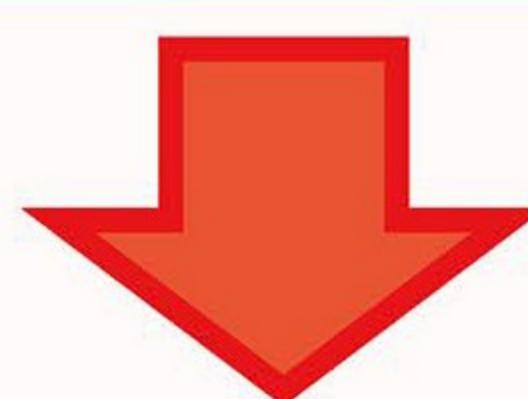
# 洪水・土砂災害から逃げるためのフローチャート

★フローチャートを参考に、我が家家のタイムラインを作成して避難しましょう。

裏面の地図で自分の家  
がどこにあるか確認し  
ましょう。

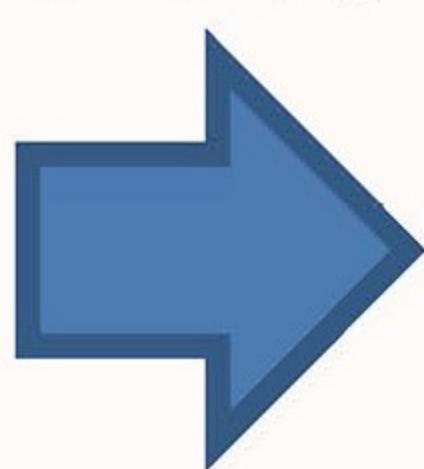


家があるところが浸水想定区域、  
急傾斜地に含まれていますか？

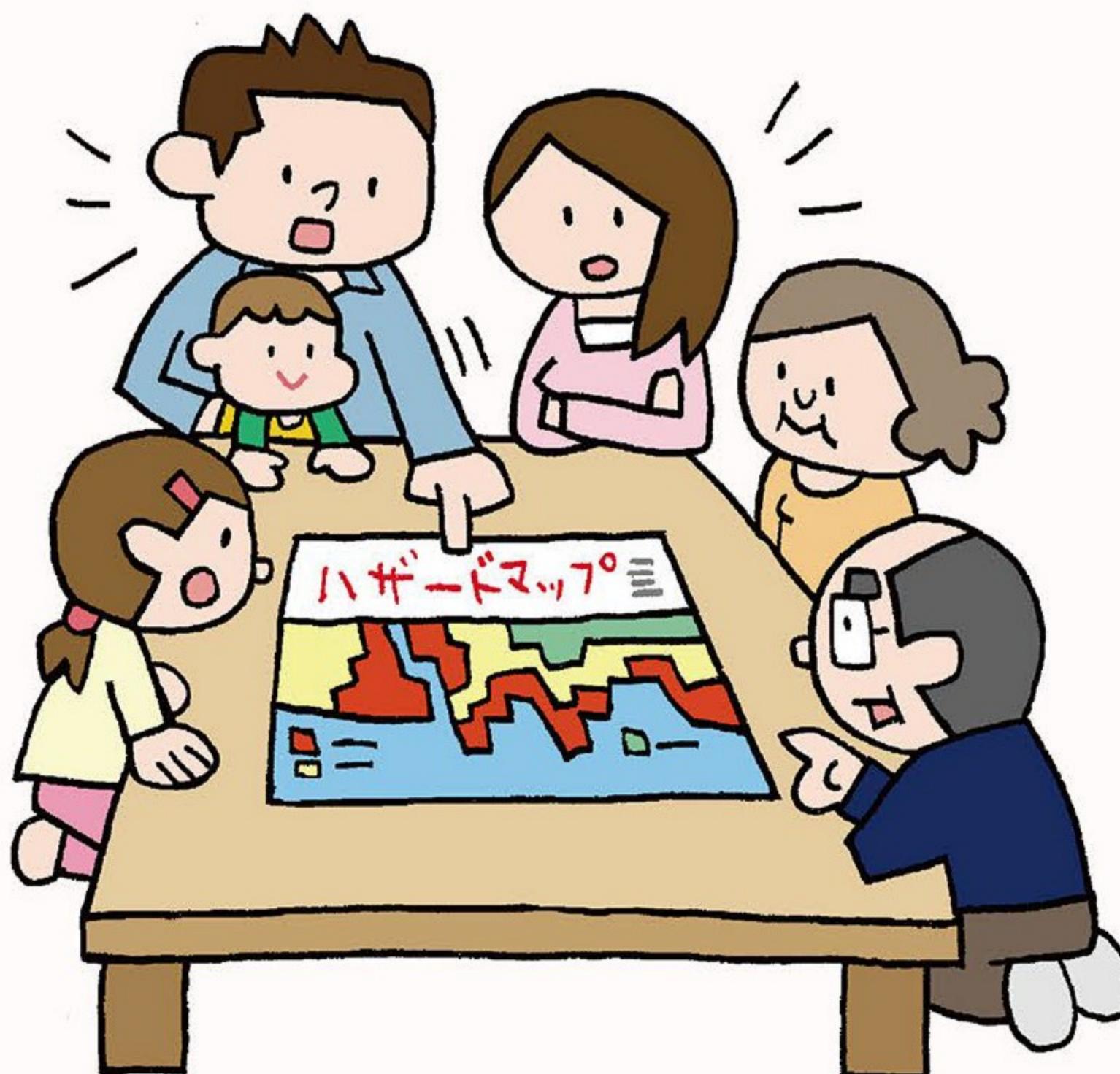


はい

いいえ



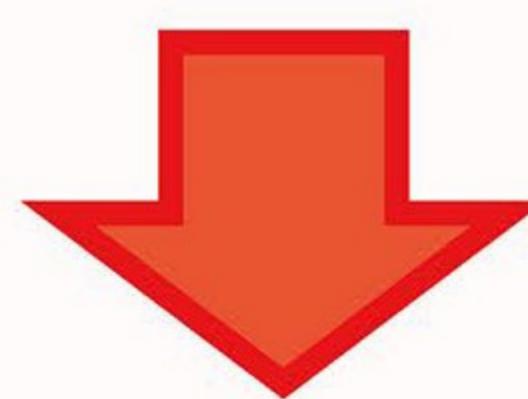
ご自宅は安全な場所である可能性は高く、洪水と土砂災害（がけ崩れ）のおそれは少ないですが、浸水想定区域、急傾斜地の近くや地域の特性を考えて、危険を感じた場合は避難しましょう。



☆家族で話し合ってみましょう

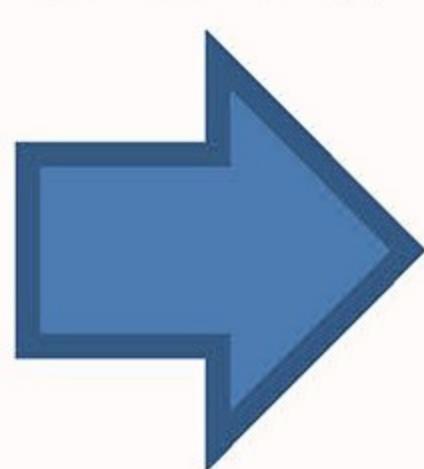
ここまで事前に確認する▲

お住まいの地域に高齢者等避難や  
避難指示が出ていますか？



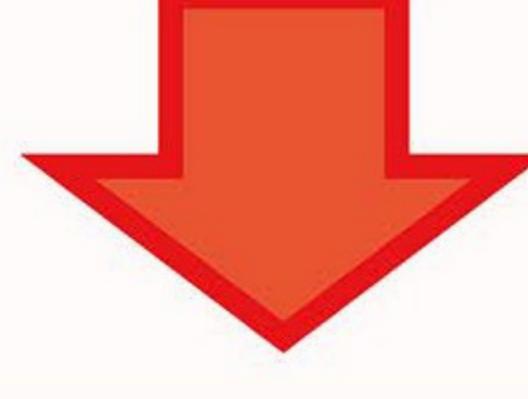
はい

いいえ



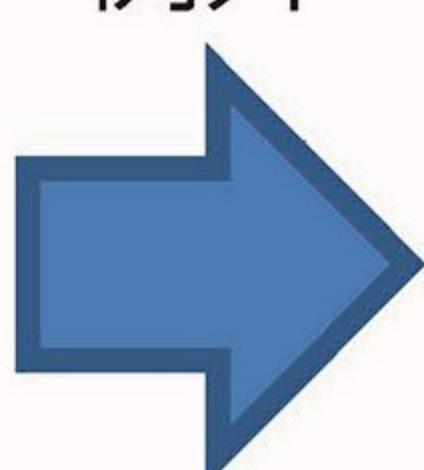
今後の気象状況や市からの情報に注意し、  
すぐに避難先へ避難できるように準備を  
しましょう。

災害の危険があるので、原則として、  
自宅の外に避難が必要です。



はい

例外



次の全てにあてはまる人は、自分の家で垂直  
避難することができます。

- ①水に浸かる深さよりも高いところに住んでいる。
- ②生活に必要な水や食べ物、簡易トイレなどの備蓄がある。



できるだけ早く、避難先  
(避難所、親戚宅、友人宅)  
に避難しましょう。

(親戚・友人宅が浸水想定区域、急傾斜地に  
ふくまれているか確認しましょう。)

※土砂災害については  
垂直避難の効果が薄いため、急傾斜地周辺にお住まいの方は  
早めに避難先に避難しましょう。